

令和4年度 事業報告書

社会福祉法人ヤマト自立センターは、障がい者の自立と社会参加を目的に令和4年度事業計画に基づき、スワン工舎として就労移行支援事業ならびに就労定着支援事業と就業・生活支援センターで連携して就労支援を推進いたしました。

1. 本部活動

- [1] 令和4年5月20日 理事会開催（書面）
（令和3年度事業報告）
（令和3年度計算書類等の承認）
（定時評議員会招集事項の承認）
- [2] 令和4年6月16日 定時評議員会開催
（令和3年度事業報告）
（令和3年度 計算書類等の承認）
（役員選任の承認）
- [3] 令和4年10月1日 理事会開催（書面）
（事務長選任の承認）
（給与規程改正の承認）
（パート職員就業規則改正の承認）
- [4] 令和5年1月24日 理事会開催（書面）
（諸規程改正の承認）
- [5] 令和5年2月27日 理事会開催（書面）
（令和5年度事業計画の承認）
（令和5年度資金収支予算および事業活動予算の承認）
（運営規程改正の承認）
（就業規則改正の承認）
- [6] 令和5年3月13日 評議員会開催（書面）
（令和5年度事業計画の承認）
（令和5年度資金収支予算および事業活動予算の承認）

2. 施設活動（新型コロナウイルス感染拡大防止策含む）

スワン工舎の感染拡大防止策として、施設内においては、マスクの着用（職員、利用者）に無償配布）、手指の消毒、1日2回施設内の消毒、そして感染症クラスターの防止を図るため、定期的に抗原検査を受検した。

スワン工舎新座では、就労支援活動において、就業・生活支援センターとの連携による相乗効果を発揮した。また安定かつ効率的な支援を推進した結果、スワン工舎新座で就労者が10名、スワン工舎羽田においても就労者が3名、合計13名の実績となった。

3. 施設体制

〔新座〕

項目	期首	期末	差	適用
利用者(人)	18	17	-1	入15名、退16名
登録者(人)	502	563	+61	就業・生活支援センター
職員(人)	21	21	±0	
車両(台)	6	6	±0	移行4台、センター2台

〔羽田〕

項目	期首	期末	差	適用
利用者(人)	8	6	-2	入2名、退4名
職員(人)	8	8	±0	
車両(台)	1	1	±0	

4. 補助金、助成金、寄付金の状況

種別	拠出先・寄付者	金額(円)	用途
補助金	新座市役所	5,688,000	障害者施設体制強化費
補助金	大田区役所	7,119,187	障害者日中活動系推進費等
助成金	ヤマト福祉財団	1,116,000	卒業者の集い
計		13,923,187	
種別	寄付者	金額(円)	用途
寄附金	ヤマト福祉財団	373,712	カレンダー売上金
助成金	ヤマト福祉財団	4,000,000	運営費
計		4,373,712	

5. 活動報告

(1) 移行支援事業

① サービス内容

- i 利用者ごとに就労に向けた個別支援計画を策定し、四半期毎に目標の達成進捗を確認し、計画の見直しを行い、利用期限を意識して効果的な就労支援を推進した。
- ii ハローワークへの求職登録、地元就労支援センターへの登録、また関係機関との連携等を行い就労支援に努めた。
- iii 医療機関との連携で、心身の健康に関する助言を受けた。また定期健康診断やストレスチェック、インフルエンザ等、予防対策を実施し日常の健康維持に努めた。
- iv 消防訓練を4月と10月に実施、また毎月の安全衛生会議での事例研究やヒヤリハットの共有等を通じて安全面の意識の高揚を図った。
- v 保護者との日常連絡や保護者面談等での意見交換を通じて相互の信頼関係向上に努めた。

vi 施設外研修は、コロナ感染拡大防止の観点から、新座、羽田共に中止した。

vii 新座市地域自立支援協議会にメンバーとして行動した。

② 就労実績 13 名（目標 18 名）

NO	就労日	就労先	施設	NO	就労日	就労先	
①	04. 01	(株)十勝大福本舗	新座	⑪	09. 27	(株) 精興社	新座
2	04. 01	ファースト・ファシリティーズ・チャレンジド(株)	羽田	⑫	02. 06	山田食品産業(株)	新座
3	04. 01	ベイク・ド・ナチュレ(株)	羽田	13	03. 13	スポーツクラブ NAS (株)	新座
4	04. 01	(株) スワン (クリーニング事業部)	羽田				
⑤	05. 18	(有)アサカベーカーリー	新座				
⑥	05. 23	(株) リボルブ・シス	新座				
7	06. 01	(株)リクルートスタッフィングクラブツ	新座				
8	06. 01	(株)リクルートスタッフィングクラブツ	新座				
9	07. 01	(株) 角川クラフト	新座				
⑩	09. 15	ジーエスケイ(株)	新座				

※No が新規就労先

※累計就労者数 241 名

③ 事業活動の充実

i パン事業は、収入が 2,375 万（計画比 122.0% 前年比 125.1%）新規納品先として大和田こども食堂様、淑徳大学学園祭様、フェアリーテイル保育園様を獲得した。ランドリー事業は、ヤマト運輸グループの制服類を中心に、親睦会のはっぴやユニフォーム、館内物流用制服等行っている。また外販先でスポーツクラブ（タオルタグ付け等）や外食（かつや）の制服等も継続している。

また、羽田では安全靴をターゲットとした事業モデルについて、令和 3 年 10 月(株)スワンが羽田クロノゲート内にクリーニング事業部を新設して、シューズクリーニングを開始、スワン工舎羽田は(株)スワンから当該業務を受託する運用となり、一定の業務量を確保している。

また利用者に対しても勤務地や仕事内容も変わらずに一般就労につながるため、安心できる環境を提供できる。

ii スポーツプログラムでの体力向上に加えて、就労に必要な知識（履歴書作成、面接練習、個別学習、スーツにて出勤等）を実施した。

④ 事業収支状況

事業収入は 2 施設合計で計画比 101.1%であり、パンの販売価格の値上げにより、収入が計画上回るが、同様に経費も増加となり事業収支は▲1011 万円となった。

(単位千円)

	収入			支出			収支差額		
	計画	実績	計画比	計画	実績	計画比	計画	実績	計画差
新座パン	19,460	23,750	122.0	25,840	28,798	111.4	-6,380	-5,048	1,332
新座フクトリ	4,490	4,643	103.4	6,700	6,889	102.8	-2,210	-2,246	-36
羽田	10,260	6,204	60.5	11,690	9,028	77.2	-1,430	-2,824	-1,394
事業計	34,210	34,597	101.1	44,230	44,715	101.9	-10,020	-10,118	-98

⑤ 工賃支給額

作業時間を基本に作業内容を勘案し、羽田も含めて一人月間平均 29,168 円を支給、前年比 6,021 円増となった。(作業時間が通常に戻った為、1 稼働当り 33H 増)

(2) 就労定着支援事業

① サービス内容

- i 利用者との相談を通じて生活面の課題を把握するとともに、企業や関係機関等の連絡調整やそれに伴い問題解決に向けて必要となる助言等の支援を行った。
- ii 利用者に来所してもらい利用者同士の意見交換会等も開催して年代を超えたつながりを持った。(イベントは中止)

利用契約者実績

施設	今 期	累計 (平成 30 年 10 月～)
新 座	30	61
羽 田	15	11
計	45	72

※就労定着支援サービス利用期間：就労して 7 ヶ月以降の 3 年間（就労後 6 ヶ月迄は就労移行支援での定着支援）

(3) 就業・生活支援センター

① 就業・生活支援センターの支援は、登録者、実習者、就業者の目標達成に努めた。

	計画目標	実績	計画比
登録者	30	58	+28
就業者	24	39	+15
実習件数	35	50	+15

※就業者の内訳:スワン工舎登録者 5 名、外部登録者 34 名

② 支援機関との連携をもとに、就労移行支援事業との相乗効果を意識して活動を推進した (新座の今期新規利用者 15 名中、3 名を紹介)

6. 職員の育成

- (1)職員会議(日次、月次)を通して、全員で情報を共有し利用者支援の徹底を行った。
- (2)職員研修等への積極的参加でスキルアップを推進した。

① 研修参加

就業支援基礎研修（1名）、訪問型職場適応援助者養成研修（1名）、高次脳機能障害の理解について（1名）発達障害と併存病状への理解について（1名）、個別支援計画研修(1名)、労務管理者研修（1名）、障害福祉サービスeラーニング研修（2名）虐待防止研修（22名）

7. 実習生受入

- (1)研修生 なし
- (2)通所希望者 53名
各支援学校生徒 40名、在宅9名、その他 4名
- (3)その他 5名
B型アセスメント3名、体験実習 2名

8. その他

(1)地域との交流

- ① 祭り、バザー等のイベントは全て中止

(2)卒業者のネットワーク構築

- ① 第14回卒業者の集いは7月に開催し、卒業者78名が参加した。
- ② 定着支援も兼ねて定期的に卒業者との交流会を開催した。

開催回数・参加延べ人数

新座	開催回数 12回	参加延べ人数	181名
羽田	開催回数 12回	参加延べ人数	211名

(3)就業・生活支援センター

- ① 関係機関との情報交換会を開催した。
開催回数 7回 参加延べ人数 53名
- ② 登録者との交流会は中止。
- ③ 就労移行施設合同就職説明会を開催した。

以上